

意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

案件名	登別市地域公共交通計画（案）	
意見の募集期間	令和3年12月24日（金）から令和4年1月24日（月）まで	
担当グループ	市民生活部市民サービスグループ	
意見の提出件数	1件	
提出された意見の概要と市の考え方		
No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>① コミュニティバスについて</p> <p>導入を望む声があることから、バス停が存在していない地域を運行する路線の策定、柏木町や千歳町、常盤町の奥地は住宅側であるのに不便な地域、上鷲別町、美園町の住宅地運行路線も住宅街なのに不便な地域などがあり、お年寄りが（交通事故防止等の観点から）運転免許返納の動機付けが必要ではないか。</p> <p>この点を踏まえ内容を膨らますべきではないか。</p> <p>他の自治体の事例では小児 50 円・大人 100 円みたいな料金が結構多いです。</p> <p>また、スクールバスの代替としてコミュニティバスを活用するのも手であり義務教育においては通学定期券を発行することも検討すべきでしょう。</p>	<p>本計画は、市民をはじめとする人々の利便性を向上させ、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目指す基本的な方向性を示すものです。</p> <p>コミュニティバスの導入をはじめ、新たな公共交通の運行については、本計画策定後に地域の実情等を踏まえ、既存の公共交通の活用を基本としたうえで、より良いあり方について検討したいと考えております。</p>
	<p>② 交通系電子乗車券を利用について</p> <p>交通系電子乗車券を利用できるよう、JR北海道や道南バスへの働きかけが必要ではないか。</p> <p>高速バス運行会社の中央バスのみ利用出来るが、登別市内でも充実させるよう検討項目に加える必要があるのではないか。</p> <p>簡易 IC 改札機すらないのと、自動券売機も不便であり、駅員も無人の時間が増えてワンマン運転されていることから、交通系 IC 乗車券はスマートフォンで簡単にチャージ等も出来、近隣のコンビニエンスストアでのチャージも対応している事から JR 北海道への働きかけも必要ではないか。</p>	<p>交通事業者交通系非接触型 IC カードによる運賃決済システムの導入予定を確認したところ、将来的に導入したい意向はあるが、明確な導入時期は決まっていないとの回答がありました。</p> <p>なお、バス事業者や市内に本社や事業所を置くタクシー事業者では、二次元コードを活用したキャッシュレス運賃決済システムを導入しております。</p>

	<p>昨今、キャッシュレスがすすみA T Mの利用時ですら手数料が取られていたり硬貨も取扱に苦慮する場面が増えてきています。</p> <p>なおさらキャッシュレス決済での鉄道バスの利用が促進されるのは時代の流れであり、市としても市民への意識づけも必要となるのではないのでしょうか。</p>	
	<p>③駅の新設について</p> <p>首都圏などの駅間は、登別駅と富浦駅の間に駅が存在するような地域があります。</p> <p>そこまで行かなくても、富浦駅のような駅舎を富浦駅から幌別駅であれば「市民プール付近」、幌別駅から鷺別駅であれば「自衛隊前付近」「登別イオン付近」「旧鷺別機関区付近」に設置し利便性を向上させるようJ R北海道に働きかけてはどうか？</p>	<p>鉄道駅を新設や移設する場合、自治体や企業等の請願によるものが考えられますが、新設等にかかる多額の費用は請願者が負担する場合はほとんどです。</p> <p>市では、現時点で新駅の設置や移設を鉄道事業者に請願する予定はありません。</p>